

地域をキャンパスに、地域の人々が幸せに生きる方法を学ぶ

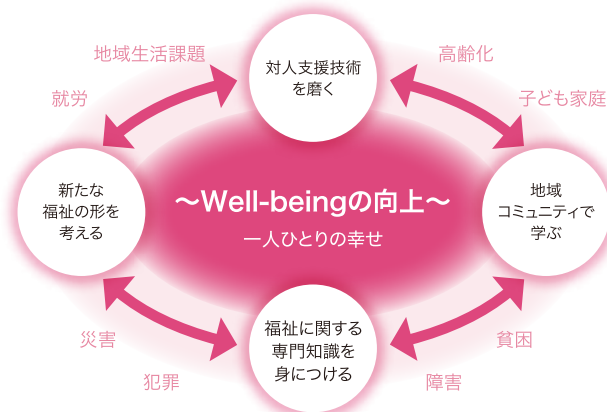
社会福祉学部

社会福祉を中心として、
地域のWell-beingの向上を学ぶ



学びの特徴

地域の人々とともにこれからの福祉を創ることを目指し、3つの視点からアプローチします



▶ 対人支援技術を磨く

対人支援技術を磨くことは、円滑な人間関係を築き、人の悩みや課題に寄り添うことで適切な支援を可能とし、社会全体の福祉を高めます。また、こうしたことが地域社会全体の信頼関係を生み出し、地域のWell-beingの向上につながります。

▶ 新たな福祉の形を創る

これからの社会変化を見据え、新たな福祉の形が必要とされています。このために多様な価値観を尊重し地域の資源を活用することで、誰もが支え合える、持続可能で包括的な福祉の仕組みや制度を創ることを学びます。

▶ 地域コミュニティで学ぶ

地域コミュニティで学ぶことは、現場の課題を直接理解し、多様な人々と協力しながら実践的な支援力を養う機会となります。また、住民同士のつながりと共助の意識を育むことにより、地域のWell-beingの向上につながる学びとなります。

地域と連携し、地域の人々の幸せ (Well-being) を実現するための多彩な学び

対人支援技術を磨く

丹野ゼミ × 上田市立川辺小学校・丸中中央小学校・北小学校

地域の児童を対象としたGSST(グループソーシャルスキルトレーニング)に支援者・指導者として参加しています。



〈研究テーマ〉

現場との協働による専門性の向上に向けた研修

新たな福祉の形を創る

相馬ゼミ × 障害福祉サービス「ぐーと」 × 長野市

長野市の就労継続支援B型事業所である洋菓子店「ぐーと」でフィールドワークを実施。働く人々の現状を探ります。



〈研究テーマ〉

障害者福祉とインクルーシブな考え方

地域コミュニティで学ぶ

矢野ゼミ × 新田自治会

上田市新田地域において地域住民を対象としたコミュニティづくりのための調査を行い、地域の課題を把握します。



〈研究テーマ〉

新田自治会総合的生活支援拠点事業

卒業後の進路

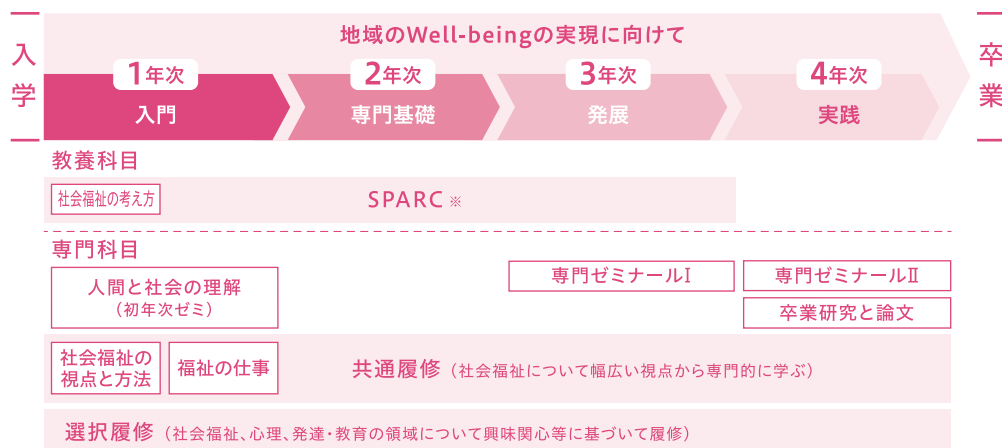
社会福祉の知識を有する人は広く社会から必要とされています。社会福祉学部の卒業生は社会の様々な分野で活躍しています。

【例】国家公務員／地方公務員(行政・福祉)／社会福祉協議会／病院／教員／社会福祉施設／企業／NPO法人／大学院 など

地域協働型教育 (地域×大学)

地域の企業や施設と積極的に関わることで多様な福祉課題を把握し、地域福祉に貢献できる力を育む

カリキュラム体系



※SPARC科目は、信州大学、長野大学、佐久大学の3大学で共通に開講する科目群(全部で30単位分。教養科目のみ)で、主としてオンデマンドで授業提供しています。